

2022年度 実務経験のある教員による授業科目一覧【看護学部】

氏名	科目名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
伊藤 美千代	産業保健論Ⅰ	1	産業保健活動経験を活かし、事例を通じて産業保健活動の実際の講義を行う。
伊藤 美千代	産業保健論Ⅱ	1	産業保健活動経験を活かし、実際の産業保健師活動事例を基に説明を進めます。
吉武 幸恵	看護技術論Ⅰ	2	総合病院の病棟での実務経験を活かし、看護技術(主に生活行動支援)の基礎について指導する。講義と課題学習の組み合わせにより、看護技術の意義、特徴を理解し、主概念である安全・安楽・自立を目指すことの重要性および、看護の基本である人間関係技術を理解し、対象者との関係を築き発展させる能力が身につくよう指導する。
金子 仁子	公衆衛生看護活動方法論	1	保健師としての経験をいかして、地区診断、事業評価の内容を享受する乳幼児健康診査の実際場面を想起できるような演習材料を提示する
金子 仁子	公衆衛生看護活動方法論	2	経験した保健師活動から演習素材を取り出し演習を行う。
高柳 千賀子	高齢者看護学概論	2	総合病院の病棟での高齢者看護の実務経験を活かし、老化現象が高齢者の身体面・心理面・社会面に及ぼす影響について解説する。講義と一部グループワークにより高齢者を取り巻く保健・医療・福祉における課題を考察し、老年看護の目的と役割について理解する。
高柳 千賀子	高齢者看護学方法論	2	高齢者看護学の実務経験を活かし、老化に伴う身体的・心理的・社会的な変化をふまえ、高齢者に生じやすい様々な生活機能ならびに健康上における障害の特徴とそれらを予防方法について指導する。講義と演習の組み合わせにより老年看護の対象となる人々の特性に応じた適切な看護の方法と看護実践に必要な基礎知識・技術を習得する。
細川 満子	在宅看護学方法論	2	在宅看護の実務経験を活かし、在宅療養者とその家族を単位とした地域・在宅での看護活動の展開方法と技術について指導する。講義と演習との組み合わせにより、訪問看護で用いられる主な医療的管理や看護ケア技術を学ぶ
山口 豊	カウンセリング基礎	1	カウンセラーと高校教員のキャリアを生かした授業を展開する。
山野内 靖子	小児看護学概論	2	小児科での実務経験のある教員が、小児看護の基礎について解説する。子どもを取り巻く保健・医療・福祉の動向と課題について理解し、成長発達過程にある子どもの特徴や小児看護の役割を学ぶ。また小児看護における倫理や子どもの最善の利益を目指した看護について学ぶ。
山野内 靖子	小児看護学方法論	2	小児科での実務経験を活かし、健康障害を有する小児とその家族への看護に関する知識と関わり方、小児看護技術の方法について指導する。講義とグループワークによる演習を通じて、特に、現在の小児医療が抱える課題に目を向け、看護の立場から課題解決の方法や支援のあり方について学習する。
市川 香織	キャリアデザインとケアⅠ	1	看護師、人的資源管理の専門家としての経験をもとにしたキャリアデザインについて授業で具体的な事例を提供する。
市川 香織	キャリアデザインとケアⅣ	1	専門職業人のキャリアサポートを行ってきた実務経験を活かして、卒業前教育としての総仕上げとなるよう具体例を通じた授業を行う。
市川 香織	家族看護学	1	講義を担当する教員は看護師としての実務経験を活かし、家族に関する概念と具体的な支援について、学生が考察を深められるよう講義を行う。
市川 香織	母性看護学概論	2	助産師としての実務経験を活かし、生涯を通じた女性の健康の支援、リプロダクティブヘルス・ライツに関する概念と具体的な支援、母子保健とそれを取り巻く課題等について、学生が考察を深められるよう講義を行う。

氏名	科目名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
市川 香織	母性看護学方法論	2	助産師としての実務経験を活かし、周産期における母性の特性を理解し、妊娠・分娩期および産褥期にある女性と新生児、その家族の看護について指導する。講義と演習の組み合わせにより妊婦・産婦・褥婦の身体的・心理的变化と家族を含めた対象の心理・社会的特性、および新生児の生理的特徴についての知識、観察と援助に必要な看護技術を習得できるような形態で行う。
児玉 悠希	ヘルスアセスメント論	2	急性期領域での実務経験(看護師)を活かし、看護対象者の理解と、健康状態のアセスメント(ヘルスアセスメント)の基礎について指導する。複数の患者事例によるアセスメント演習と、対象の観察を目的としたシミュレーション演習によって、学生の実践的な思考力および観察技術を養う。
児玉 悠希	看護と情報Ⅱ	1	急性期領域での臨床経験を活かし、看護過程における基本的なアセスメント内容、および発展的な専門性の高いアセスメントの展開方法について指導する。
時田 礼子	公衆衛生学	2	保健師として自治体に勤務した経験を活かし、公衆衛生学について、生活をしている限り自分に関係のあることとして捉えられ、且つ看護職としての視点も養うための講義を行う。
室岡 陽子	リハビリテーション論	1	教育リハビリテーション、職業リハビリテーション、医学リハビリテーション、リハビリテーション看護の実務経験に基づいたリハビリテーションの考え方と実際についての講義を行う
小島 善和	災害看護論	1	災害看護の実務経験のある教員が担当する
小島 善和	成人看護学方法論(急性期)	2	教科書に記載された内容だけではなく、教員それぞれの実務経験に基づいた実践例を交えることで、理論と実践を結びつけた授業を行う。
小島 善和	成人看護学方法論(慢性期)	2	教員は、それぞれ臨床での看護実践経験を持つ。ゲストスピーカーは、がんの専門看護師として臨床で活動中である。ALS当事者は、病気をもちながら育児と社会活動をしている。
松下 博宣	キャリアデザインとケアⅡ	1	看護師としての経験をもとにしたインタビュー技術やチームにおける対話力、チームワーク、ラボレーション、リーダーシップ、フォロワーシップの実際についての授業内容とする。
松下 博宣	ヘルスケアサービス論	2	アメリカ、カナダ、スリランカ、コンゴ民主共和国でのヘルスケアサービス改善などの経験あり。授業トピックに応じて、それらの知見をシェアする。
松下 博宣	ヘルスケアマネジメント論	1	看護管理者の実務経験をもとにマネジメントに関する基礎知識と、具体的に活用できるマネジメント方法について講義を行う
松下 博宣	地域包括ケアと多職種連携	1	研究成果や紹介事例をもとに、グループディスカッションをおこなう。実習での経験や本授業を踏まえて、地域包括ケアシステムや多職種連携に関する課題を抽出して、レポートを作成し発表する。
水野 芳子	看護と情報Ⅲ	1	臨床で多く体験するような事例をもとに根拠ある看護に必要な情報について学習します
大久保 一郎	保健福祉行政論	1	国(厚生労働省等)での実務経験を生かし施策化について具体的に教授する
大石 朋子	口腔健康論	2	摂食嚥下リハビリテーションに従事した経験を活かし、口腔の健康に関連した講義を行う。
谷口 優	疫学・社会調査	2	担当教員が、これまでに小児保健及び長寿科学の領域で実施してきた調査・研究の経験を活かし、疫学が社会に応用された事例を紹介する。
藤井 かし子	ケア論	1	大学病院、訪問看護ステーションでの看護師としての実務経験と患者家族としての実際の体験、豊富な地域でのボランティア経験に基づきケアの対象を多角的に捉え、病気や障害をもつ者、病や障害を抱える家族、コミュニティ、地球社会に通ずるケアの方法を見出すことを指導する。講義と演習の組み合わせにより、患者や患者家族の気持ちを共感し、ケアとは何かという根本的な問題を考えられるようにする。
藤井 かし子	看護学概論	2	病院看護師(日米)、訪問看護師(日)としての実務経験、若手看護師指導経験を活かし、看護の基本概念について解説する。学問としての看護学を概観的に学ぶことで、学習者の看護学に対する興味・関心を培い、動機づける。

氏名	科目名	単位数	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うか)
藤井 かし子	看護関係法規	1	病院看護師(日米)、訪問看護師(日)としての実務経験、ケアマネジャーの有資格、米国大学院の行政学修士、企業経験を活かし医療従事者としての看護師が理解すべき法律とその解釈について理解できるように解説する
藤井 かし子	看護技術論Ⅱ	2	病院看護師(日米)、訪問看護師(日)の病棟での実務経験を活かし、看護技術(主に治療・処置に関わる看護)の基礎について指導する。講義と演習の組み合わせにより、治療・処置による、対象者への身体的、精神的負担を理解し、正確で安全かつ安楽に提供するための知識、技術、態度を学修する。
藤井 かし子	看護倫理	1	看護師としての実務経験と患者家族としての実際の体験に基づき、臨床場面で遭遇する倫理的諸問題について紹介するとともに、その解決のステップについて学習する。
藤井 博英	精神看護学概論	2	精神科看護師としての実務経験に基づき、精神障がい者の理解および精神看護の特殊性について指導する。また、講義や演習の組み合わせにより、精神障がい者をとりまく精神保健医療福祉の現状を学ぶとともに精神障がい者のリハビリを進めるために必要な知識と援助技術を習得する。
藤井 博英	精神看護学方法論	2	精神科看護師としての実務経験に基づき、精神障がい者の理解および精神看護の特殊性について指導する。また、講義や演習の組み合わせにより、精神障がい者をとりまく精神保健医療福祉の現状を学ぶとともに精神障がい者のリハビリを進めるために必要な知識と援助技術を習得する。
藤井 博英	精神保健	1	精神科看護師としての実務経験を活かし、こころを病むことについて学び、こころの健康を保つ方法について考えていく。また、精神保健医療福祉の歴史を学び、今後の精神保健福祉施策について考察する。
樋野 興夫	病理学	1	講師は、臨床病理学の意味が担当する。
鈴木 明子	感染症学	1	千葉大学医学部附属病院ICT(Infection Control Team)のメンバーの一員として活動した経験、千葉県保健所保健婦として感染症危機管理に対応した経験を活かして、感染対策に関する講義を行う。
齋藤 佑見子	家族看護論	1	病院を中心とした家族支援の実務経験を活かし、さまざまな家族の捉え方また支援に関する授業
	合計	62	